

知事・危機管理統括監・環境生活部次長(男女共同参画・少子化対策担当)・教育長に対して質問

【結果】 岐阜県子ども子育て会議について

将来の岐阜県を担う子供たちが国の制度で振り回われないようにとの思いで質問をさせていただいたところ、環境生活部次長より子ども子育て会議の設置については25年度前半までの設置と、メンバー構成についても子ども子育てに関わる各関係者を委員に入れていただくことをお約束いただけました。

【結果】 発達障がいのある生徒の高等学校段階における教育支援や就労支援について

教育長より、次年度から発達障がいのある生徒に対する支援策として、高等学校に指定校を設け、指導方法等の研究を進め、また就労支援については、県の関係部局はもとより国等の関係機関とも連携を進めており、今後も充実を図ることを約束していただけました。

岐阜県議会 現在の役職

■総務委員会 副委員長

■産業振興・まちづくり対策特別委員会 委員 (平成24年度 現在)

地元活動報告(抜粋)



地元の皆さんといろんなお話をすることによって、それぞれの地域の課題を教えていただくことができます。

商店街の皆さんからはアーケードの問題、東海環状の建設予定地域では用地の問題やアクセス道路の問題など皆様からいただいた課題を一つ一つ丁寧に解決しております。

そんな中、野田代議士と秘書時代から取り組んできた岐阜市の懸案事項であった椿洞の産業廃棄物問題が、関係する地域の皆さんと岐阜市の努力によって予定の予算より少ない金額で今年度無事完了することとなりました。

その他にも47年ぶりの国体では大会機運を盛り上げるために、おもてなし隊の皆さんと炬火ウォークをさせていただいたり、同世代の仲間でもある岐阜青年会議所の仲間とサッカー大会に出場させていただいたり各世代の皆様の意見をできるだけ聞くために多くの行事に参加させていただくことができました。

今しかできない活動を大切に今後も頑張っていきます!!



岐阜県 行財政改革の取組み

3年間の行財政改革アクションプランの取組みにより、財源不足の解消とともに、必要な政策課題に対応するための予算編成を行うことができました。

また、この間に財政構造も好転しており、平成25年度以降も、各年度において多額の財源不足が生じることはない見通しです。

(1) 財政構造の変化

・人件費や公債費といった義務的経費が減少するなど、財政構造は大きく変化しています。

・社会保障関係経費は、高齢化の進展などにより毎年30億円から50億円程度の増加が見込まれますが、予定されている消費税率の引上げによって、向こう数年間の財源は手当てできると考えられます。

【財政構造の変化(県費ベース)】

(単位: 億円)

	H20	H25	増減額
人件費	2,065	1,962	(▲103)
公債費	1,320	1,249	(▲71)
社会保障関係経費	689	877	(+188)
その他の経費	2,051	1,978	(▲73)
計	6,125	6,066	(▲59)

(2) 各種財政指標等の変化

・財政の状況を示す下記の指標はすべて改善しています。

【財政指標の状況】

経常収支比率	H20: 99.1 (全国44位) → H23: 93.6 (全国21位)
実質公債費比率 (3年平均値)	H23: 19.7 (ピーク) → H25見込み: 17.1
〃 (単年度値)	H21: 20.8 (ピーク) → H25見込み: 15.7
将来負担比率	H20: 249.8 (全国29位) → H23: 218.5 (全国24位)

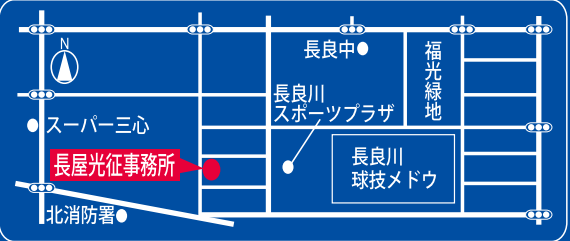
将来の負担を少しでも減らすために岐阜県も様々な努力をしていますが、上記に書いてあるとおり、毎年30億円～50億円程度の自然増がある社会保障関係経費への対応など、必要な予算の確保が課題となるため、今後も行財政改革などに引き続き取り組む事で、将来の子供たちに負担を先送りしないように努力してまいります。

岐阜県議会議員 長屋こうせい事務所

〒502-0816 岐阜市道三町32番地 デンデンビル3F

TEL/FAX 058-232-6343

http://ameblo.jp/nagaya-gifukenn



ご連絡先、お電話番号等の変更がございましたら上記までご連絡ください。

2013 3月号

絆 KIZUNA がんばろう日本!

岐阜県議会議員 長屋光征 県政報告

ごあいさつ

県議会議員に当選させていただいてから任期の半分である2年が経過しようとしておりますが、皆様のご指導のもと今年も様々な経験をさせていただいた事、改めて感謝申し上げます。

当選させていただいてから皆様にどのように恩返しをしていくべきか、日々考えているなか、昨年に引き続いて被災地に足を運んでいると、自分がしなくてはいけないことは県民の生命・財産を守ることが最大の使命であると気づき、議会でも県防災を中心に質問をさせていただいております。

県政においては財源不足を解消しつつあるものの、まだまだ多くの課題を抱えており、今年もしっかり頑張っていきたいと思いますので、引き続きのご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



今年度も委員会視察を含めて多くの県内視察をさせていただきました。

小泉進次郎衆議院議員と地元の鶴匠さんの話を聞かせていただいたり、県内企業で一生懸命頑張っている会社に訪問させていただくことで、岐阜県は標高3000メートル地帯から海拔0メートル地帯まであり様々な仕事をしている人たちがいることを改めて学ばせていただくことができました。

一般質問ではその視察の経験を生かし、山岳救助隊の皆さんのことや、看護師の皆さんの仕事の大変さを取り上げさせていただきました。

今後も直接現場を見てまわり、皆さんの意見を県政に取り入れていきたいと思っています。

総務委員会

今年度は県政全般に携わる総務委員会に所属し、しかも副委員長という大役をいただきました。

委員会では執行部の皆さんと県の広報のあり方など、様々な議論をさせていただき視察では最近話題のメタンハイドレートの研究施設や、岐阜大学病院にてドクターヘリの視察など多くの事を学ばせていただきました。





県議会において、多くの一般質問をさせていただきました。

警察本部長に対して質問

平成 24 年 第1回議会 3月14日

質問 刑法犯対策について

■防犯意識向上に向けた取り組みについて ■初動警察活動の充実・強化について

知事・危機管理統括監・総合企画部長に対して質問

平成 24 年 第4回議会 9月20日

質問 防災情報通信システムについて

■南海トラフ地震の被害想定を踏まえた岐阜県防災情報通信システム基本計画の見直しについて
■移動通信系としての無線の存続について

質問 科学技術の研究開発における県の支援について

■事業仕分け等による地方向け研究開発予算の減による、本県への影響と、今後の県の対応方針について
■優良研究分野に対する人的支援や事務的支援について

健康福祉部長・教育長・警察本部長に対して質問

平成 24 年 第5回議会 12月14日

質問 福祉避難所について

■福祉避難所指定の現状と課題について
■県立特別支援学校の福祉避難所指定に向けた取り組みについて

質問 認定看護師養成にかかる助成制度の拡充について

質問 山岳救助隊の装備品の充実について

知事・危機管理統括監・環境生活部次長(男女共同参画・少子化対策担当)・教育長に対して質問

平成 25 年 第1回議会 3月8日

質問 東日本大震災被災3県への職員派遣について

質問 原子力防災対策上の除染対策について

質問 岐阜県子ども子育て会議について

■岐阜県子ども子育て会議設置に向けた準備状況について
■岐阜県子ども子育て会議のメンバー構成について

質問 発達障がいのある生徒の高等学校段階における教育支援や就労支援について

警察本部長に対して質問

【結果】 刑法犯対策について

県民の安心・安全を守るため、近年増加傾向にある刑法犯を少しでも減少させるために質問をさせていただいたところ、警察本部長より、防犯指導をする警察官の知識向上も必要であるため、現在三十一人おります防犯設備士の資格を持つ警察職員の増員と指導内容の充実をしていただきました。初動警察活動を支える各種システムについて、大規模災害発生時を見据えた機能維持対策や、システムを高度化するための最新技術の導入をするなど、初動警察活動のさらなる充実・強化をしていただきました。

知事・危機管理統括監・総合企画部長に対して質問

【結果】 防災情報通信システムについて

計画が見直され県独自の地震被害想定を踏まえ、超広域、大規模災害に対する備えとして、衛星系と地上系有線の2層システムに移動系(無線)を加えた3層システムとすることに決まりました。



【結果】 科学技術の研究開発における県の支援について

定期的で開催している野田代議士の科学技術の勉強会に参加させていただく中で、小惑星探査機はやぶさの開発者である川口淳一郎さんや、ノーベル賞を受賞された山中伸弥教授のお話を聞くことができ、特に山中教授のiPS細胞の研究は岐阜大学でも研究をされていることを知り、岐阜県でも科学技術の研究開発に積極的に県が支援することによって、未来の岐阜県を支える新産業を生み出すことができるのではないかとその思いで質問させていただきました。

質問後、岐阜大学の手塚准教授が行っているiPS細胞の研究の外部資金獲得申請時に県の協力をいただきました。

今後も岐阜県を支える可能性がある新分野や、新産業を取り上げて県の支援を訴えていきたいと思います。



健康福祉部長・教育長・警察本部長に対して質問

【結果】 福祉避難所について

東日本大震災発生時に福祉避難所不足が問題になりました。

様々な障がいを抱えた皆さんだけではなく、乳幼児を抱えたお母さん方の授乳場所の確保が必要になるため、バリアフリー化など施設面において福祉避難所としての一定の機能を有している県立の特別支援学校を活用したらどうかとの思いで質問させていただきました。

健康福祉部長からは既存の避難所である体育館や公民館などの施設を障がい者、高齢者向けに一部改築したり、ポータブルトイレ、おむつ、育児用品、簡易スロープ、プライバシーに配慮できる間仕切り等を備蓄するなどして、必要に応じ福祉避難所としても利用することが可能となるよう市町村に対して働きかけていただく確約をいただき、教育長からは市町村の地域防災計画に基づいて県も協力していくことをお約束していただきました。

【結果】 認定看護師養成にかかる助成制度の拡充について

看護師不足が深刻化するなか、現場の看護師さんや、潜在看護師(離職中の看護師)さんが、キャリアアップや、スキルアップがしやすい環境をつくるべきとの思いで質問させていただいたところ、健康福祉部長から病院に対して積極的に働きかけていただき、ナースセンターに登録している潜在看護師に対しても状況に応じて助成対象に加えることを検討していただけることになりました。



【結果】 山岳救助隊の装備品の充実について

命がけで活動をしていただいている山岳救助隊の活動を少しでも支援するべきとの思いで、同期の高殿県議(高山市)と協力して質問をさせていただいたところ、山岳対策費として来年度の予算を増額していただきました。

知事・危機管理統括監・環境生活部次長(男女共同参画・少子化対策担当)・教育長に対して質問

【結果】 東日本大震災被災3県への職員派遣について

被災地域を視察しているときに、地元の地方議員さんに「岐阜県として何か出来ることはないですか?」と聞くと「復興を進めるためには人的支援の継続をお願いしたい」とのお話をうかがい今回の質問をさせていただきました。

知事さんからは今年度同様の支援を約束していただきました。

しかし、派遣される職員さんやご家族の皆さんへの配慮も必要になってくるため、こちらの課題にもしっかり取り組んでいきたいと思います。

【結果】 原子力防災対策上の除染対策について

震災後初めて福島県の警戒区域内を視察させていただいたところ、2年前から時が止まったままの現状に驚愕をし、改めて原発事故・放射能汚染の恐ろしさを目の当たりにし、原発立地県ではありませんが最短で25キロ圏内に原発を抱える岐阜県でも迅速に対応できるための除染対策が必要だとの思いで、質問をさせていただきました。

危機管理統括監からは、県の地域防災計画の原子力災害中長期対策の中で、除染に係る県の役割や、特に優先的に除染すべき地域、福島の経験を踏まえた除染技術の蓄積などを記載していただけることになりました。

